

2011年6月24日

省エネLEDと太陽光発電を組み合わせた節電表示機

ソーラーパネル式LED表示機“ゼロデン”を発売

平成23年7月4日、東和メックス株式会社（本社：東京都文京区、社長：村田三郎）は太陽光発電で稼働するLED表示機“ゼロデン（ZERO-DEN）”を発売する。

“ゼロデン”は省エネLEDディスプレイとソーラーパネル、バッテリーで構成される自然エネルギーを利用した自家発電型LED表示機。LEDディスプレイを徹底的に省電力化することで、太陽光発電で得た電力により商用電力を使わずに稼働することができる。余った電気はバッテリーに蓄電され、夜間や雨天などの無日照時はバッテリーに蓄電された電気を使い、無日照が続いた場合でも約5日間稼働することができる。^{注1}^{注2}また、安全確保のためのLEDフットランプを搭載し営業時間外などに使用できるほか、無駄な電力消費を抑える営業タイマーなど、その他の機能も充実している。

想定する用途は各施設の案内板や商用看板など。電気をとれない場所・地域でも設置可能なフリーロケーション対応で、停電など非常時の運用にも役立つ。^{注3}商用看板の場合、先の計画停電や節電風潮の高まりにより外観を消灯する店舗が増えたが反面、「営業中と気付かない」「消費マインドが低下する」など営業機会損失につながる問題が生じており、“ゼロデン”は節電営業の有用なアピールツールとなる。

“ゼロデン”の開発はグループ子会社のトータルテクノ株式会社でおこない、全国の販売店・代理店および弊社直販営業を通じて販売する。

^{注1} バッテリーを長持ちさせるため週に1度のAC充電が必要。

^{注2} 無日照動作時間とはバッテリーが満充電された状態でソーラーパネルによる発電がまったくない場合の動作期間。表示部の点灯率50%で1日12時間動作させた場合。

^{注3} 設置環境や運用状況によりご使用いただけない場合があります。

この件に関するお問い合わせ先

—人と環境に優しい企業を目指す—

東和メックス(株) 商品本部 電話03-3816-7871

